



素晴らしい人間環境づくり

ニチハ株式会社

東証プライム・名証プレミア 証券コード:7943

個人投資家向けセミナー 会社説明会資料

2026年2月21日



本日のご説明内容

1. 事業内容のご紹介
2. 会社業績
3. 中期経営計画

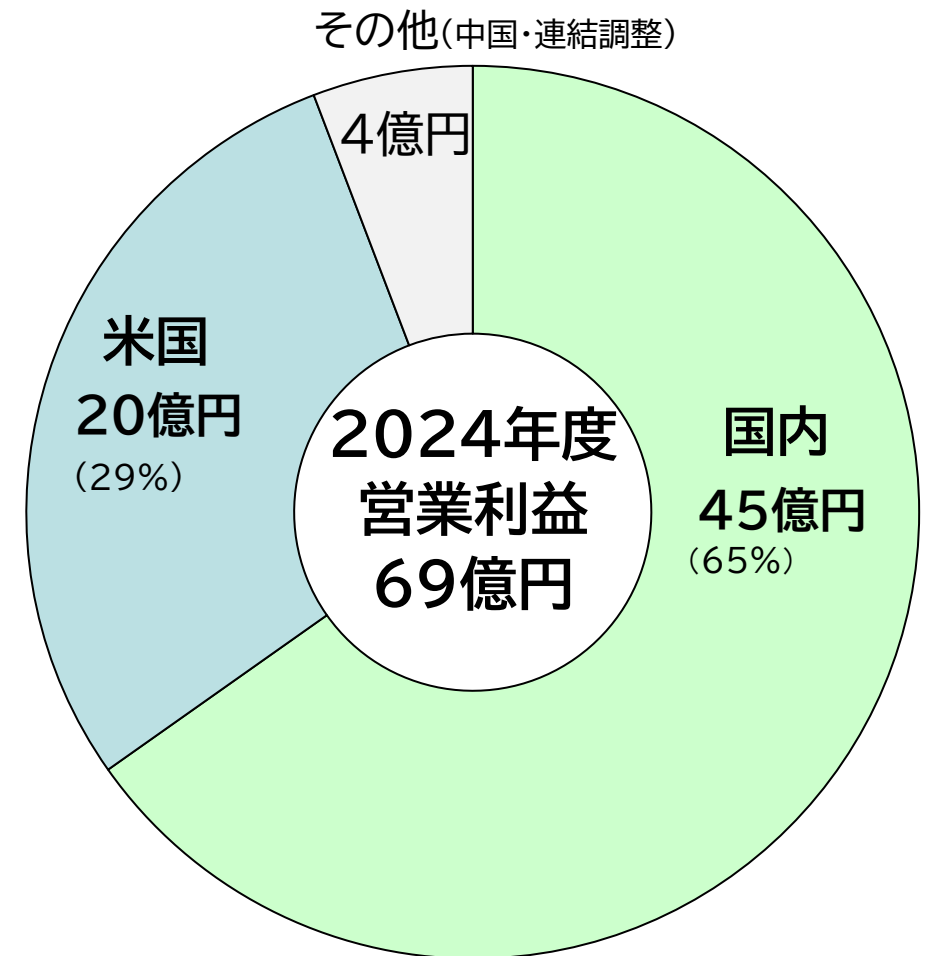
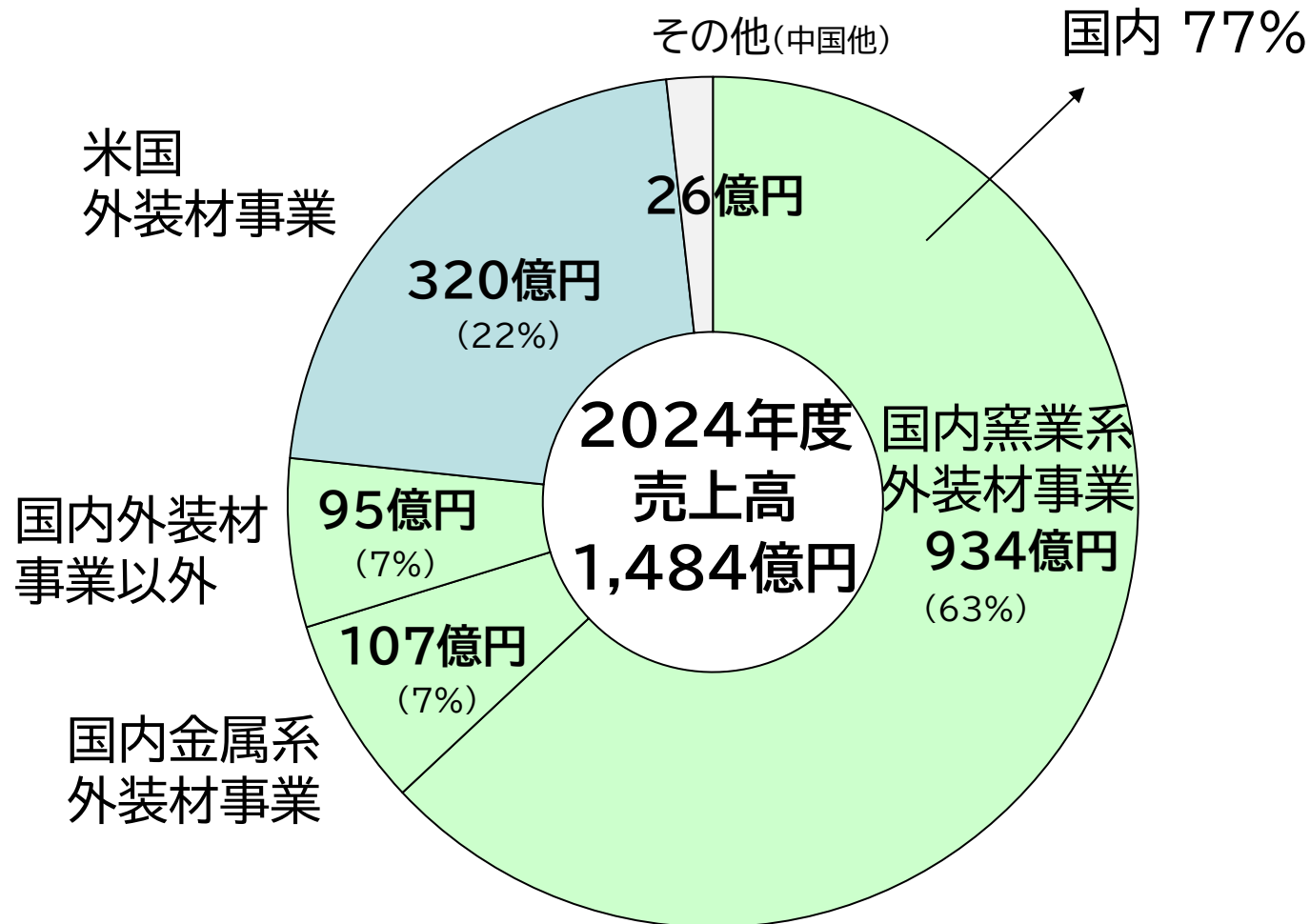


1. 事業内容のご紹介



事業内容

- 窯業系外装材(窯業系サイディング)の製造・販売
- 金属系外装材の製造・販売
- ハードボード、各種建築材料の製造・販売



ニチハをご理解いただくための3つの柱

■住宅向け

1. 当社グループの主力事業
2. トップシェア

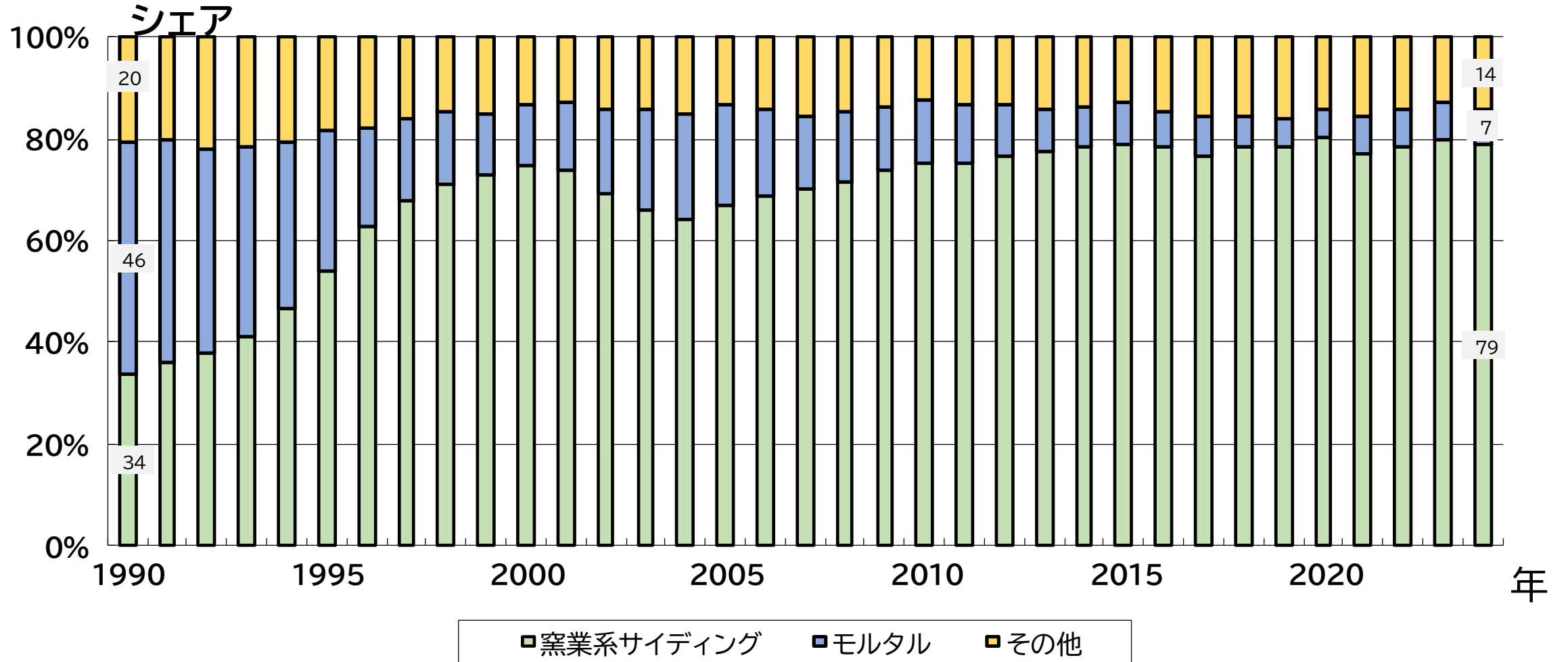
■非住宅向け

1. 商業施設向け
2. 改修への対応強化…MARCシステム
3. マンション向けにも注力

■海外

1. 米国事業の拡大
2. 米国以外の新市場開拓

一戸建住宅における窯業系サイディングシェア推移(国内)

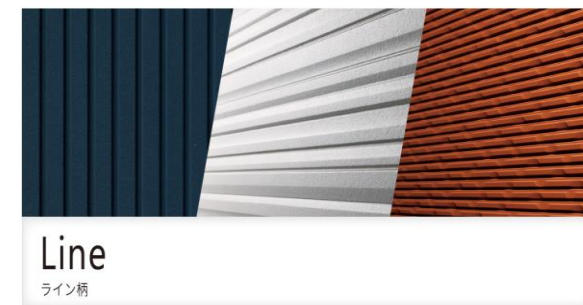
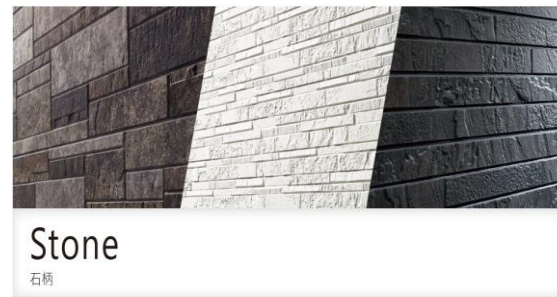
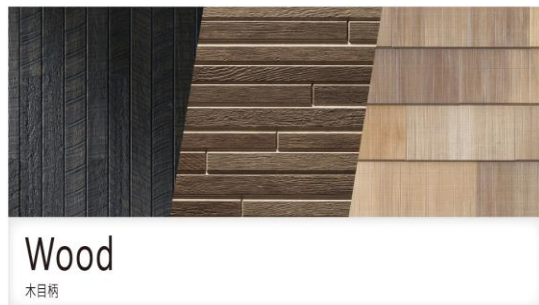


◆乾式施工でスピーディーな工期

窯業系サイディングは、工期が短い(=低コストに繋がる)ため、従来の「モルタル塗り」や「外壁下地+タイル仕上げ」と比較し、施工期間を短縮することができます。

◆豊富なデザイン

木やレンガ、石などを模したもののからサイディングオリジナルのデザインのものまで、様々なデザインを取り揃えています。



◆2025年度3Q累計のメーカーシェアはニチハが**58.4%**でトップ

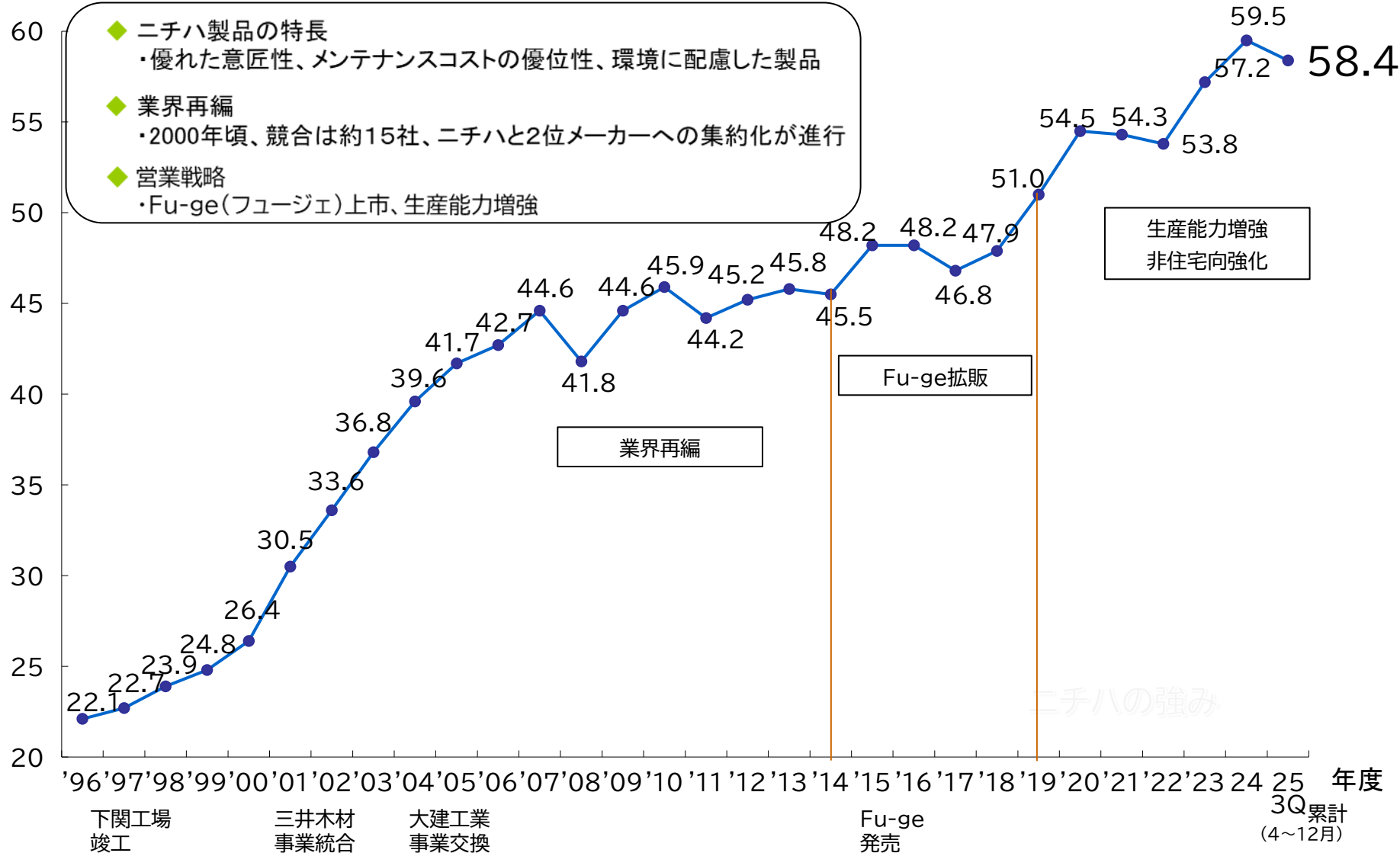
順位	窯業系サイディングメーカー
1	ニチハ株式会社
2	ケイミュー株式会社
—	旭トステム外装株式会社
—	東レ建材株式会社
—	神島化学工業株式会社

国内シェア推移

2027年3月期
目標62%

シェア上昇の理由

- ◆ ニチハ製品の特長
・優れた意匠性、メンテナンスコストの優位性、環境に配慮した製品
- ◆ 業界再編
・2000年頃、競合は約15社、ニチハと2位メーカーへの集約化が進行
- ◆ 営業戦略
・Fu-ge(フュージェ)上市、生産能力増強



ニチハ製品の特長

◆ 優れた意匠性

- ・ニチハ独自の乾式成型技術で高意匠を実現
- ・彫りの深いエンボス柄、立ち上がり角がシャープで細かなテクスチャーを忠実に再現
- ・つなぎ目の目立たない、一体感のある仕上がり(Fu-ge)

◆ メンテナンスコストの優位性

- ・変色・褪色が目立ちにくい、超高耐候塗料の採用
- ・ニチハだけの30年保証
- ・シーリング不要の独自製品(Fu-ge)

◆ 環境に配慮した製品

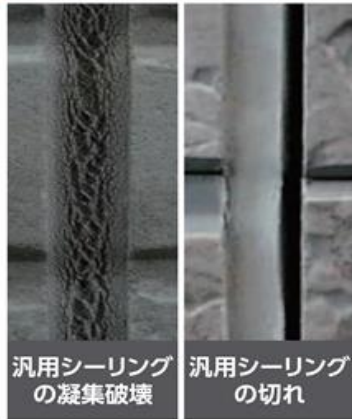
- ・木材チップを原材料として使用することでCO2を固定化、「張るだけで環境貢献」

◆シーリング目地が入らない

- ・サイディングの左右接合部にシーリング目地が入らないことでフラットな壁面を演出
本体継ぎ目にシーリングの打ち替えの必要なし

シーリング仕様

汎用シーリングの不具合でお悩みではありませんか？



汎用シーリングは経年劣化によって凝集破壊や切れなどが発生することがあります。



シーリング目地



Fuge



シーリング目地に比べて
板の継ぎ目が目立ちにくい。

●商業施設向け等採用実績例

- 1) ファーストフード
- 2) スーパー
- 3) 専門店
- 4) 老健施設(大手ディベロッパー案件)

●外壁改修

タイル張りの場合、経年劣化による剥落が大きな事故の原因にも

→2~3年ごとの「目視及び部分打診検査」、10年ごとの「全面打診検査」が法律で義務づけられている。

オーナーにとって検査にかかる費用負担が悩ましい課題となっている。



ニチハMARCシステム
…外壁の上に重ね張りする独自工法
→定期的な打診検査は不要に

●新工法の共同開発

RC造における新工法を長谷工コーポレーション様と共同開発 2022年6月2日発表

複合乾式外装工法「RC×EX工法」が技術審査証明を取得
～耐久性・デザイン性・耐燃えひろがり性に優れ環境にも配慮～



鋼製下地(プラットフォーム)詳細



左：窯業系サイディング施工後・右：鋼製下地組みの様子

今後はマンション向けの販路拡大へ

□ 商業施設



□ 中層ビル



□ 中層マンション



□ 改修物件



RC造・吹付塗装仕上げの既存壁にサイディングを重ね張り

改修前



1998年5月 Nichiha USA, Inc. 設立(販売会社)

2007年10月 Nichiha USA, Inc. メーコン第1工場(住宅市場向け)を新設し稼働開始

2022年6月 Nichiha USA, Inc. 第2工場(コマーシャル市場向け)を稼働開始

米国事業

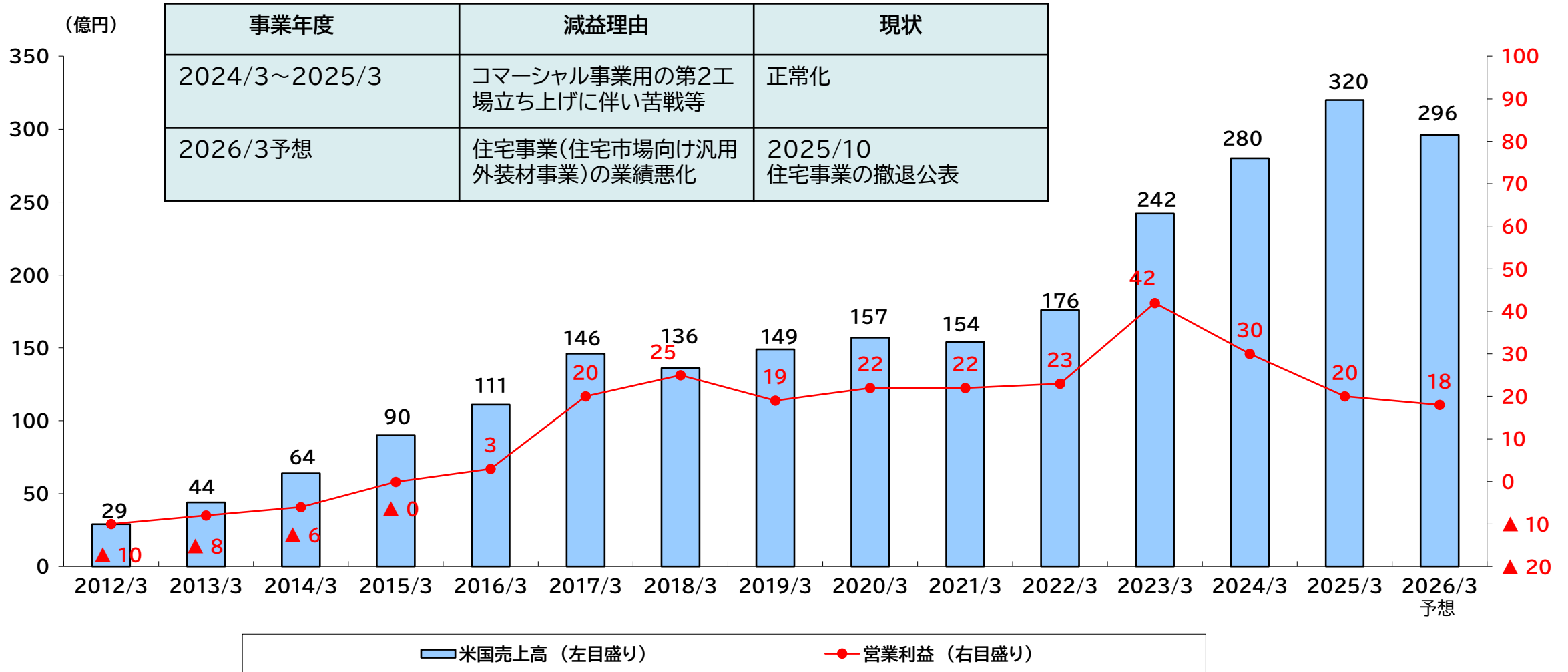
- 営業利益に占める米国事業の割合が30%程にまで成長
- 中期経営計画においても今後の成長エンジンとして極めて重要な存在

米国以外<豪州、アジア、欧州への拡販>

- 納品リードタイム短縮、施工支援体制拡充
- インオーガニック戦略(業務提携含む)による成長



米国 業績推移



2. 会社業績

2026年3月期 通期国別業績予想

(百万円、%)

	社数	売上高		営業利益			
		2025/3期 実績	2026/3期 予想(注)	2025/3期 実績	2026/3期 予想(注)	増減額	%
国内	10	119,494	117,000	4,535	7,020	+2,485	+54.8
米国 (百万US\$)	2	32,015 (211.0)	29,600 (199.8)	2,007 (13.2)	1,800 (12.1)	△207 (△1.1)	△10.3 (△8.3)
中国 (百万円)	2	4,068 (193.3)	3,800 (185.2)	154 (7.3)	280 (13.6)	+125 (+6.3)	+80.9 (+86.3)
連結修正		△7,099	△5,400	254	900	+646	+253.7
連結	14	148,478	145,000	6,951	10,000	+3,048	+43.8

(注)2026/3期 修正予想：2025年11月7日発表

国内

値上げ効果等

米国

当期は住宅事業の赤字が大きく響くものの、今後は成長軌道回復へ

3. 中期経営計画

グッドデザイン賞受賞



**GOOD DESIGN
AWARD 2021**

PREMIUM SERIES

M型 スマートフラット
プレミアム

遮熱性フッ素鋼板



1 重要戦略テーマ

2 財務目標

3 重要戦略テーマ(個別論点)

1 重要戦略テーマ

長期ビジョン

Challenge Global to 2030

『Globalに通用する 企業を目指す』

- 日本の住宅関連市場の縮小が避けられない中、事業の中心を国内住宅市場に加えて、国内非住宅市場及び海外市場に拡大
- 「開発から調達、生産、営業、物流までのバリューチェーン、資本効率、リスク管理など、あらゆる面でGlobalに通用する」企業を目指す

第一次中期経営計画における重要戦略テーマ

- 1 国内外の市場開拓推進**
 - ・ 前中計における生産能力増強投資の効果刈り取りによる成長の加速
 - ・ 国内 更なるシェアアップ、非住宅分野への拡販
 - ・ 海外 米国を中心として、継続した成長を実現
- 2 収益性の向上**
 - ・ 製品ラインアップの高付加価値品シフトによる収益力UP
 - ・ 施工用部材の開発販売強化
 - ・ 適地生産の拡大による物流コスト削減
 - ・ 省力化投資等による生産性向上
 - ・ 人件費等のコストアップに対し、適宜製品価格の見直しを検討
- 3 マテリアリティへの取組強化**
 - ・ 燃料転換によるCO2削減の検討、産廃物の有効利用等
 - ・ 人的資本経営の推進
- 4 資本政策**
 - ・ 成長投資と株主還元への配分を優先したキャッシュフローアロケーション
 - ・ ROIC向上、財務レバレッジの適正化、資本コスト低減を通じたPBR改善

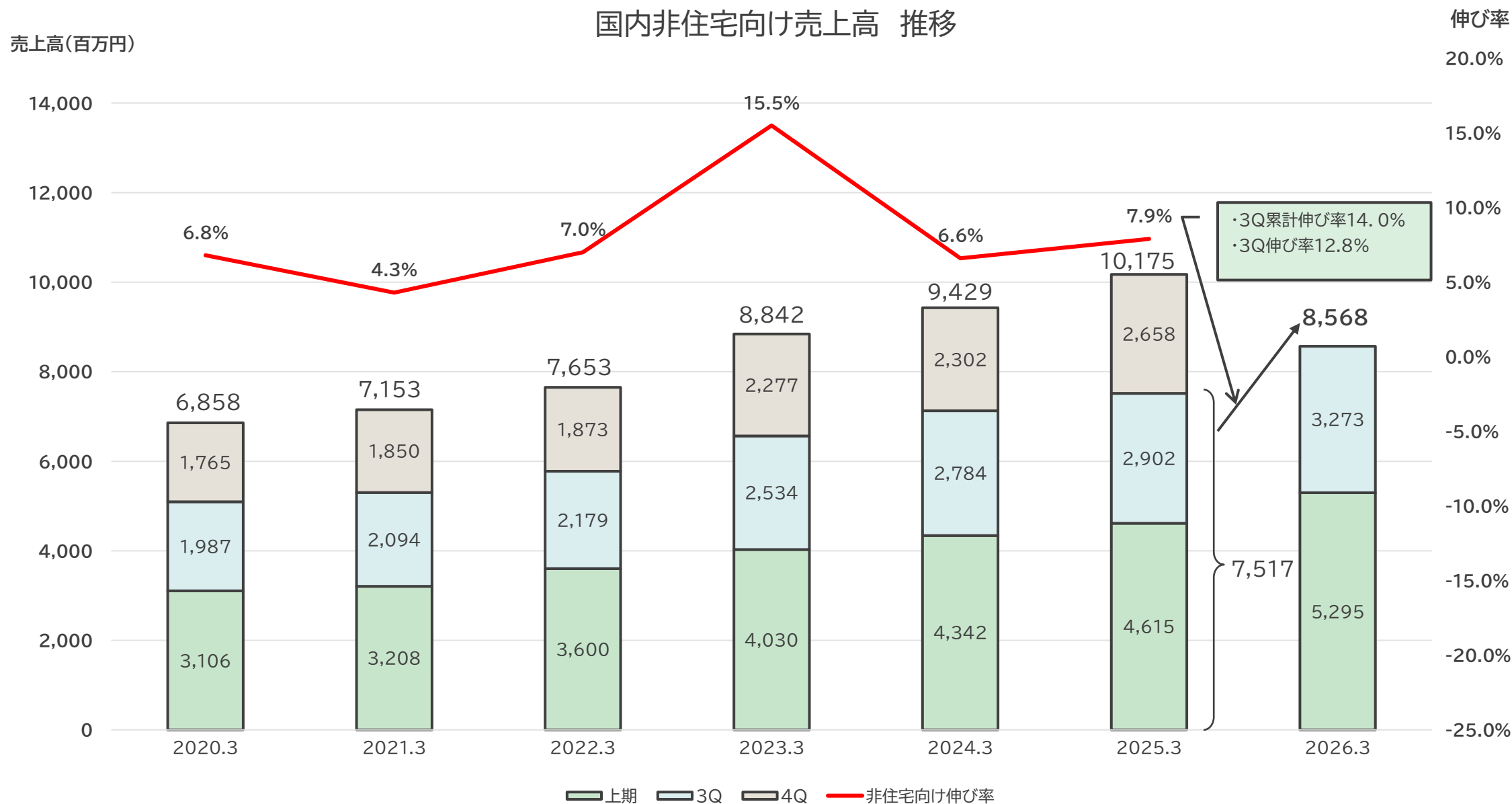
2 財務目標

				(億円)	
	実績 24/3月期	実績 25/3月期	予想 26/3月期	→	第一次中計目標 27/3月期
売上高	1,427	1,484	1,450		1,610
(内 米国事業)	(280)	(320)	(296)		(384)
営業利益	102	69	100 上期(実績) 35 下期(予想) 65		165
(内 米国事業)	(30)	(20)	(18)		(79)
営業利益率	7.1%	4.7%	6.8%		10.2%
自己資本比率	72.0%	70.2%	70.0%程度		70%以下
配当性向	51.0%	145.2%	128.0%		45%以上
ROE	6.6%	2.2% 注1)	2.4% 注2)		9%
ROIC	5.1%	3.5%	5.1%		8%

注1) 過年度法人税等2,051百万円の影響を除いた場合 3.8%

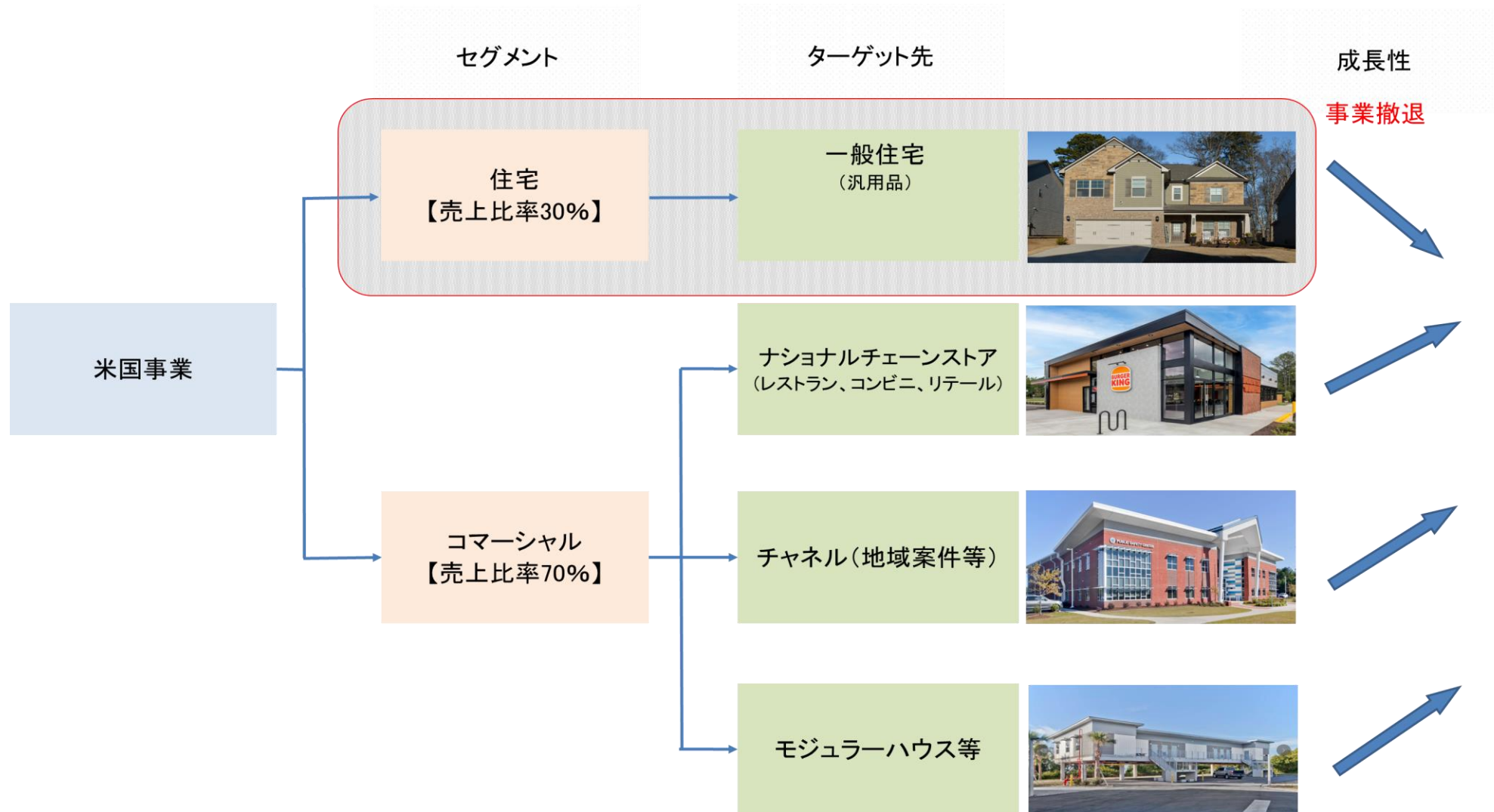
注2) 米国・住宅市場向け汎用外装材事業からの撤退に関連する特別損失6,000百万円の影響を除いた場合 6.0%

国内事業(非住宅分野)



米国事業の状況

住宅事業は撤退、今後は非住宅物件を中心としたコマース分野が成長エンジンへ
米国市場において当社品はマイナーシェアであり、営業力増強による新規開拓でシェア拡大を推進



収益性の向上

1. 価格改定

■窯業

1. 実施日:2025年4月1日(火)出荷分より
2. 対象商品:金属製外装材を除く全品目
3. 価格改定率:10~15%程度

2. 物流コスト削減

上期物流コストアップ
2.7億円

■適地生産の拡大

1. トラックドライバー不足に対応した輸送距離の短縮
2. コスト削減・・・2026年3月期 1億円程度。第一次中計期間の最終年度までに3億円/年 程度

■物流新倉庫の建設着手

1. 2024年問題への対応(トラック待機時間削減)
2. 投資金額42億円、2027年稼働予定
3. コスト削減・・・2.5億円/年 程度

3. その他

■拠点の集約等

1. 国内・・・生産ラインの統廃合
2. 海外・・・米国現法における住宅市場向け汎用外装材事業の撤退

マテリアリティへの取組強化

ニチハにおけるマテリアリティの定義

環境・社会のサステナビリティに影響を与える課題のうち、ニチハの強み、特徴を生かして貢献していくべき重要課題(この課題への取組が、ニチハの中長期的な競争優位性、価値創造力の持続化、強化にも繋がる)

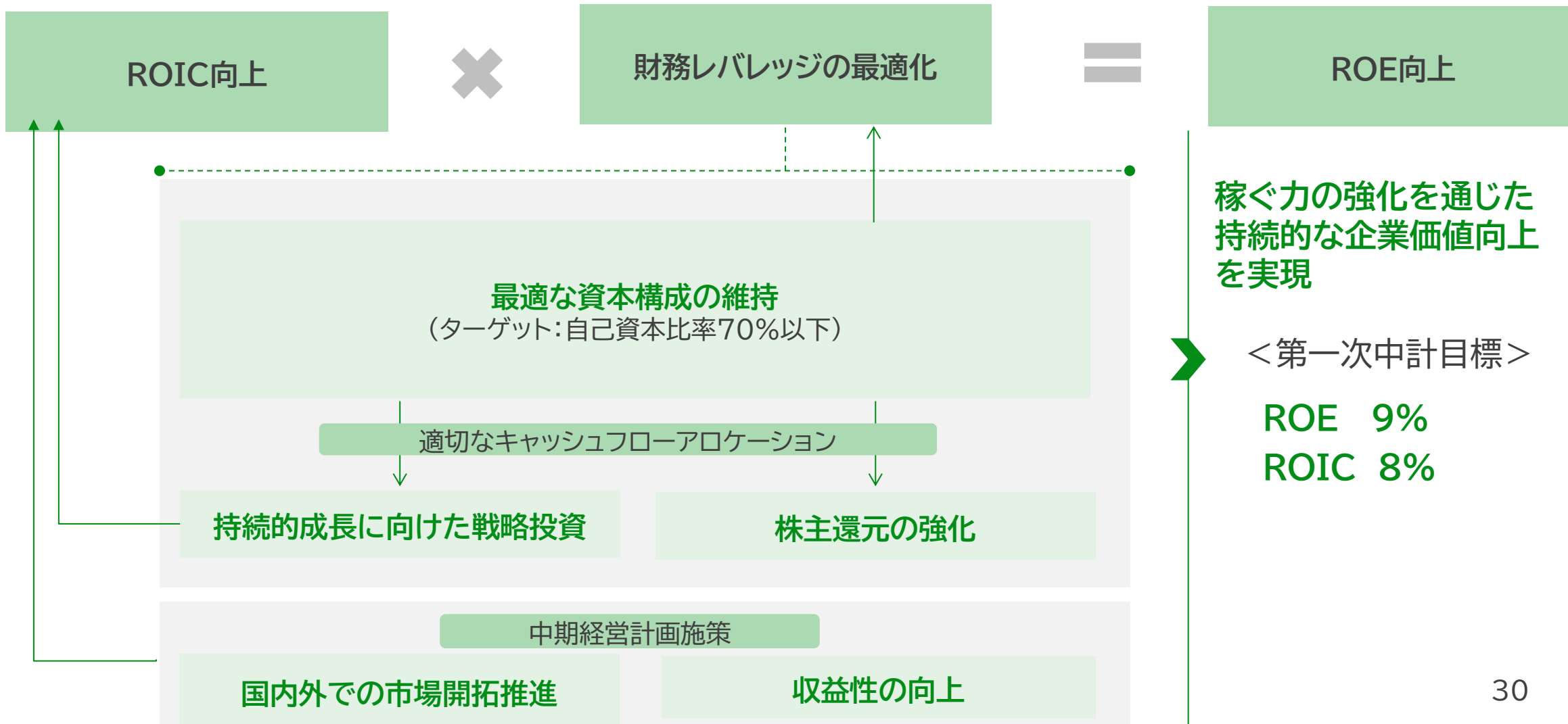
マテリアリティ		事業活動	
地球温暖化の防止	CO2排出削減	自社CO2排出削減 サプライチェーンでのCO2排出削減	①EPD(注1)…米国の製品、輸出向けの一部主力製品について取得済み。国内向けについても提出に向け準備中 ②SBT(注2)…申請に向けて取組中
	環境貢献商品の拡充	自社製品によるCO2固定化 自社製品の長寿命化	
循環型社会の形成	資源の循環利用	産業廃棄物の有効利用 自社製品のリサイクル推進	長期ビジョン 「Challenge Global to 2030」及び第一次中期経営計画達成に向けた持続的成長を支える人材の育成・活用に注力
	木材資源の保護	間伐材・端材の有効利用 持続可能な森林経営への貢献	
人権の尊重	従業員の人権尊重 サプライチェーンにおける人権尊重	ハラスメントの防止 人権に配慮した調達推進	
	人的資本経営の推進	人材の育成・活用	
ダイバーシティの推進		女性の活躍促進 高齢者の活躍促進 多様性を尊重する職場づくり	健康経営推進の取り組み強化
安全な職場づくり		労働安全衛生の確保	

(注1) EPD …製品のライフサイクルにおける環境負荷を定量的に示した、ISO準拠の環境認証ラベル

(注2) SBT …パリ協定が求める水準と整合した、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標

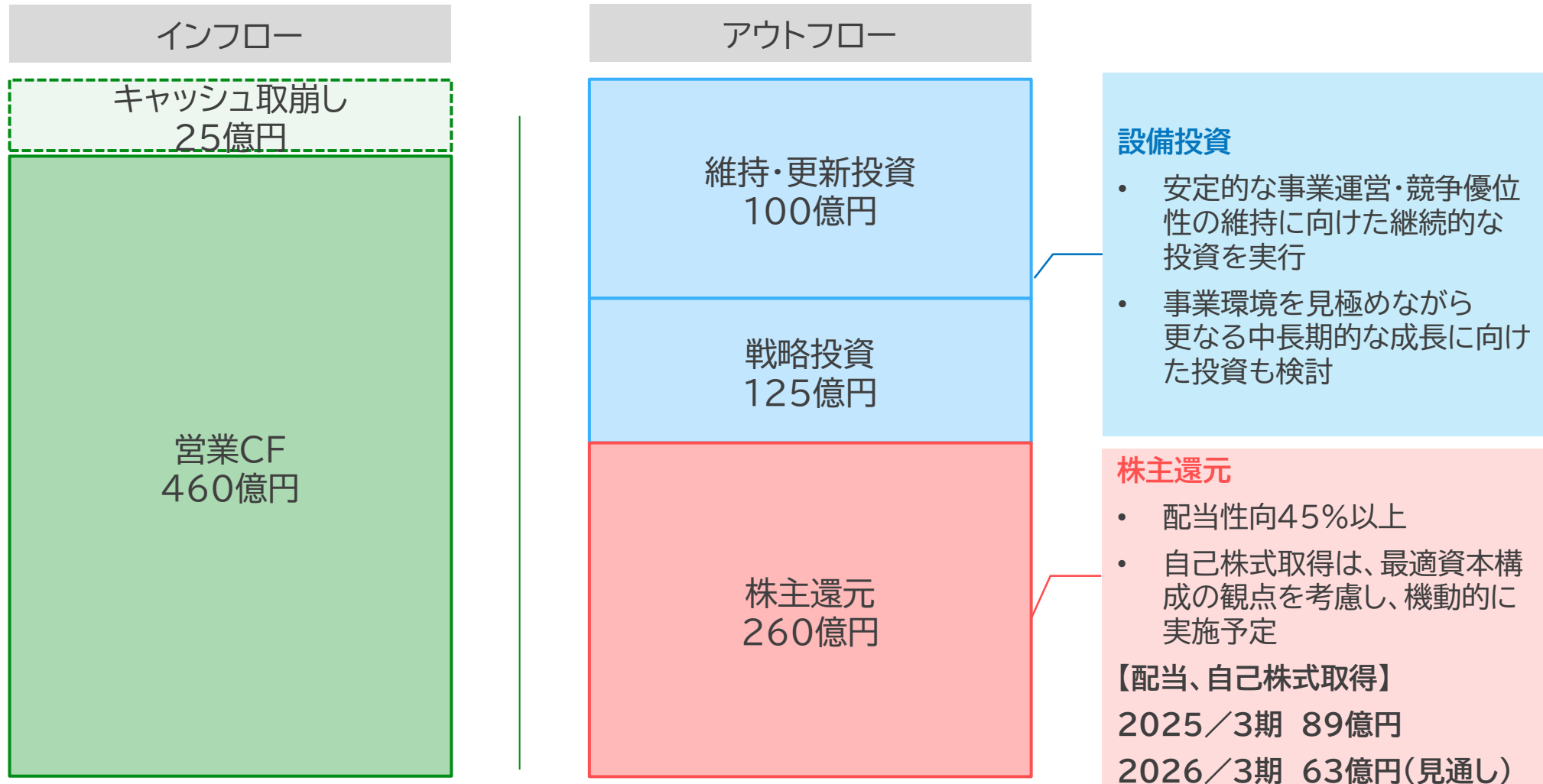
取組方針

ROICの向上と財務レバレッジの最適化により、ROEの向上を図る



キャッシュフローアロケーションの方針(第一次中計期間)

稼ぎ出したキャッシュはまず維持・更新投資、及び成長、合理化のための戦略投資に充当。次に安定的で充実した配当と自己株式取得に充当。



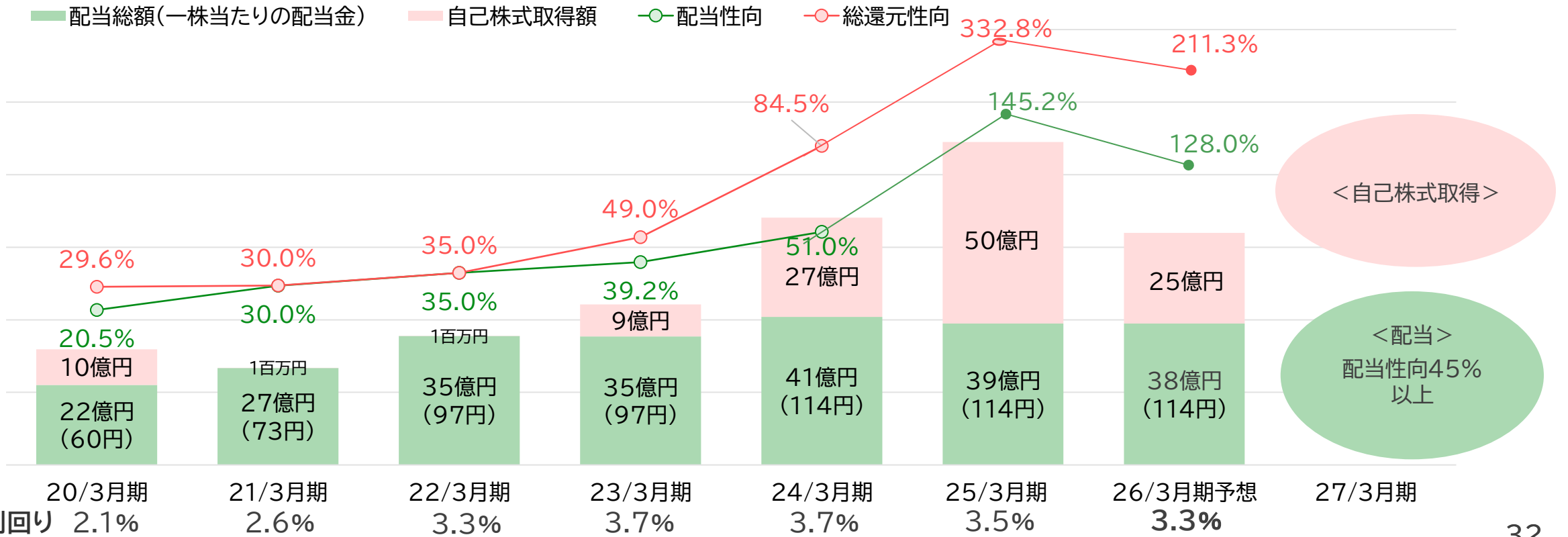
3 ④ 資本政策 / 株主還元方針

■ 配当

- 業績に応じた利益還元を基本としつつ、安定的な配当の維持に努めることを基本方針とし、2025年3月期より配当性向をこれまでの「40%」から「45%以上」に引き上げ。
- 業績下方修正後も、期初公表114円/年を据え置き。

■ 自己株式取得・消却

- 本年5月、「株数100万株、金額25億円」を上限とする自己株式取得を公表。11/5に累計「837,100株、2,499,785,200円」にて買付終了。
- 今回取得した自己株式の全株式に200万株を加えた株式数を2025年11月28日に消却。



- ✓ ニチハの強み
 - (1)国内シェアトップ 58.4%
 - (2)特長のある製品力
 - ・優れた意匠性
 - ・メンテナンスコストの優位性
 - ・環境に配慮した製品
 - (3)非住宅向けの成長
 - (4)海外展開

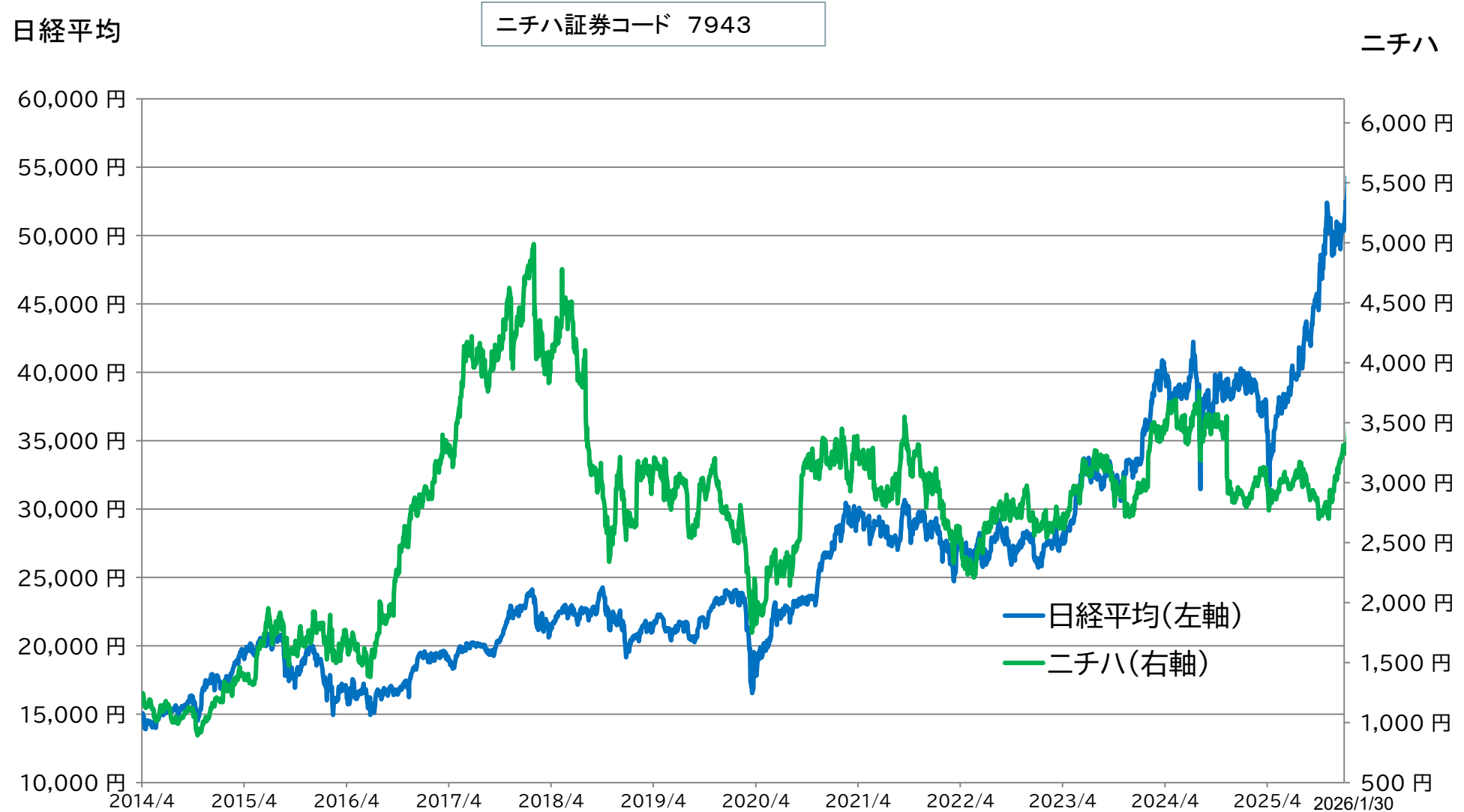
- ✓ 株主還元
 - ・連結配当性向 128.0%
 - ・年間配当金 114円
 - ・配当利回り 3.3% 注)2026年1月30日終値で算出

- ✓ 事業の成長性
 - ・米国事業は諸課題を克服して持続的な成長へ
 - ・商業施設や中高層建物向けなど国内非住宅市場の開拓を強力に推進

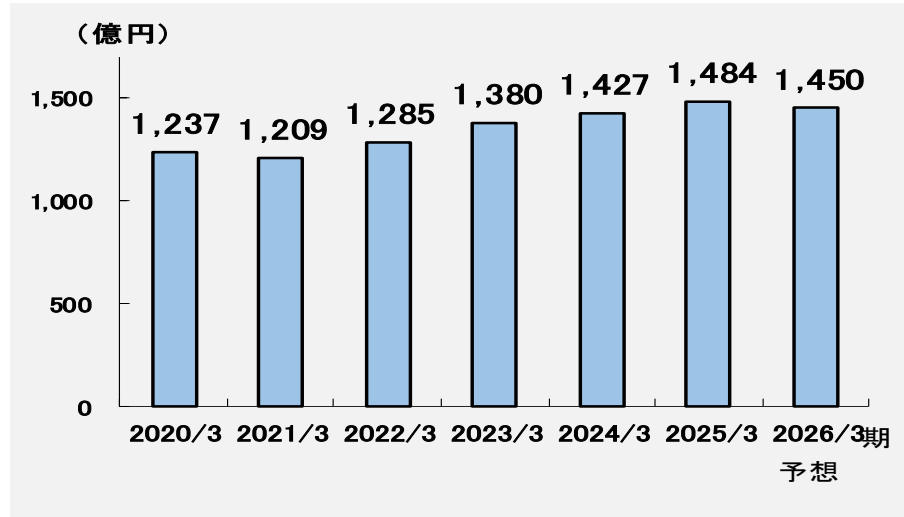
ご参考資料



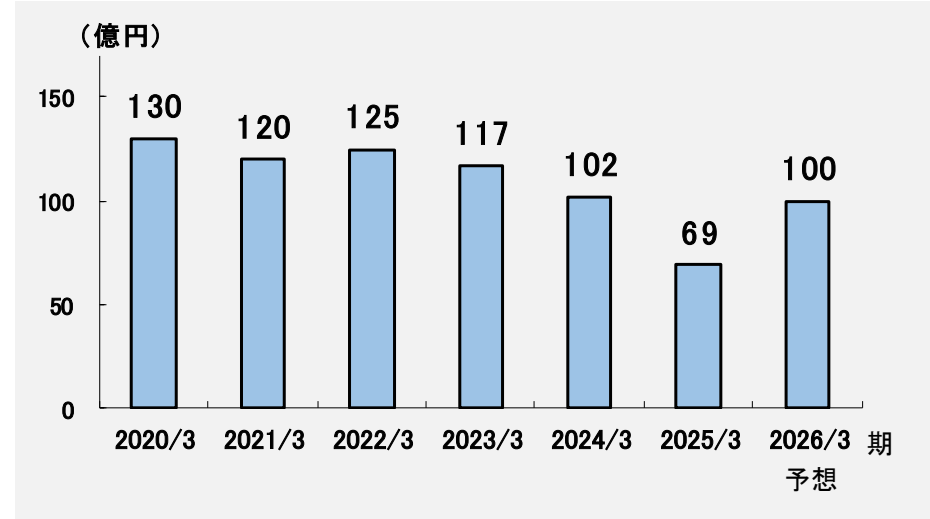
株価の推移



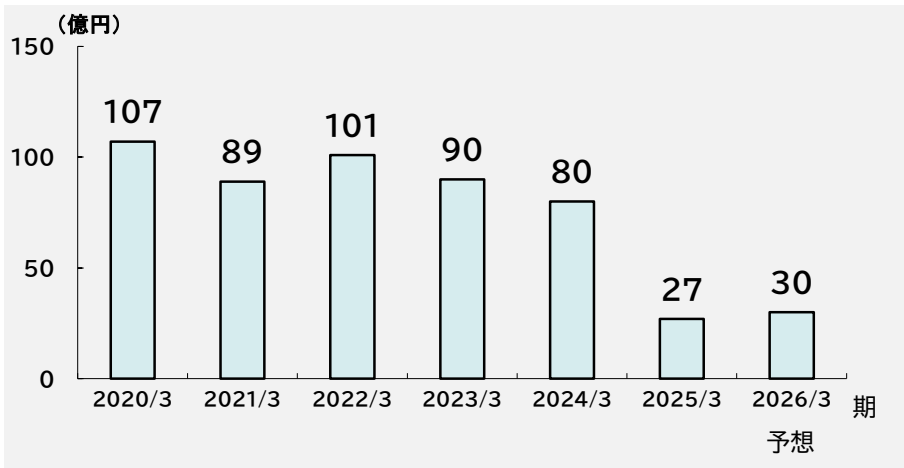
売上高



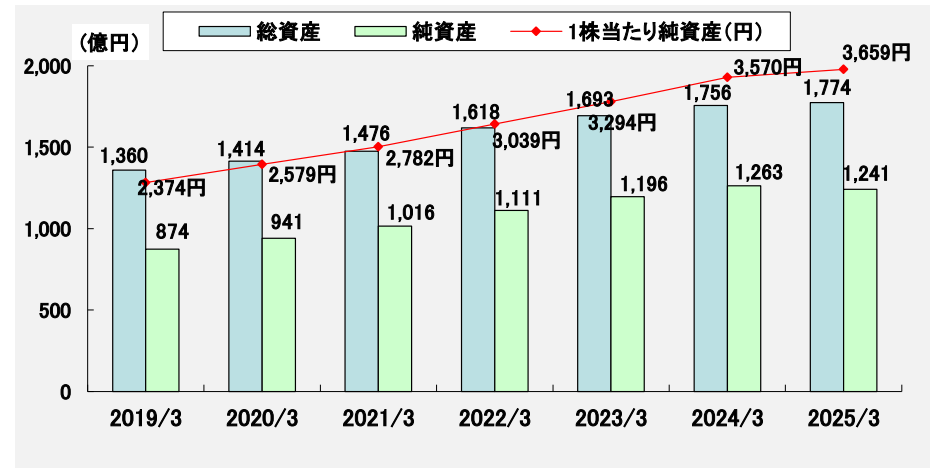
営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



総資産・純資産



<https://www.nichiha.co.jp/ir/>

決算短信、決算説明会資料を掲載しています

IR ニュース

IR NEWS

2026.01.30	IR資料	2026年3月期第3四半期 決算説明資料 PDF (553KB)
2026.01.30	IR資料	2026年3月期 第3四半期決算短信 (日本基準) (連結) PDF (247KB)
2025.12.26	IR資料	コーポレート・ガバナンスに関する報告書 PDF (298KB)
2025.12.17	IR資料	コーポレートレポート2025 PDF (12,472KB)
2025.12.05	IR資料	2026年3月期第2四半期 決算説明会動画

決算説明会動画を掲載しています

view more →

中期経営計画等に関する資料を掲載しています

2024.05.15	お知らせ	長期ビジョン・第一次中期経営計画に関するお知らせ PDF (3,089KB)
2024.05.15	お知らせ	資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について PDF (349KB)
2024.05.15	IR資料	2024年3月期 決算説明資料 PDF (1,527KB)

ニチハ株式会社

このサイトについて 採用情報 Global Site 施工例マイリスト

会社情報 IR情報 商品情報 施工例 ショールーム カタログ 各種情報

建築専門家向け 一般のお客様向け

IR情報

HOME > IR情報

English

IR情報

INVESTOR RELATIONS

トップメッセージ →

コーポレートガバナンス →

CSR →

注意事項

本資料は、株主・投資家の皆様への情報提供を目的としたものであり、売買を勧誘するものではありません。

また、本資料には将来の見通しや計画等に関する記述が含まれております。それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しているため、確約や保証を与えるものではありません。